

事業所名： グループホーム北山

作成日： 令和 3 年 10 月 20 日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	事業所は看取りの経験がある職員が少ない。急変時の対応や利用者や家族への接し方、職員の心のケアも含めて、継続した看取り介護の研修を行うことを期待する。	急変時の対応や職員の心のケアなど、看取りを受け入れる事の出来る体制作り。	法人内の特養では看取りを行っているので、経験豊富な看護師長に看取りの学習会を開催して頂き、看取りの心得、注意すること等を学ぶ。	3 か月
2	6	身体拘束について、具体的な事例で検討し、正しく理解する為に外部研修の受講者から伝達講習がある。職員はスピーチロックやグレーゾーンについても情報を共有し、支援に繋げている。今後も、継続されることを期待する。	身体拘束会議の継続。	3か月に1度、身体拘束の委員会を開催し、その時々課題を上げ話し合う。また、研修に参加した際は伝達講習を行う。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。